

# 国語教師としての個体史的分析

— 生徒の授業評価から —

末 永 統 一

## 一、はじめに

私は広島大学在学中、野地先生の「国語教育個体史研究」を読んで感動を覚えた。この本に触発されて、就職した年から十年間（昭和三八〜四八年）、毎学年末に、私は授業へでたクラスの全員に無記名のアンケートを実施してきた。「末永統一の評定だ」などとユーマラスに言いながら率直に書いてもらった。これは教師として自己を知る上にも、より良い国語教室を作るためにも、私にとって有益だった。

実施したアンケートは、その場その場で目を通してはいたが、十年間を通して教師としての自己の成長ぶりはどうか、生徒の見方・希望はどのようなかをおとつけ、ここからより良い国語教室の原則を見いだしたいと思ひ、まとめてみたものである。

## 二、アンケートについて——その対象と分析方法——

生徒に書かせたアンケートは年により多少のニュアンスの違いはあるが、だいたい下記のようなものである。

このアンケートをだいたい三学期の最終授業で実施した。自分の判断でどのような評価点をつけようとかまわないが（そのため無記

末永統一の評定

一、五段階評価点

二、右で評定した、その理由

三、これからの授業で望むこと（具体的に）

○組 男・女

名にしてある）、後輩により良い授業をするためのものであるから具体的に書いてくださいと念をおした。このアンケート十年間分は資料が膨大であるし、散佚年度もあるので、次の四時点に絞り、その成長・変化ぶりを見ることにする。すなわち、

昭和三九年度（明石南高校・教師二年目）

昭和四一年度（広高校一年目・教師四年目）

昭和四五年度（広高校五年目・教師八年目）

昭和四六年度（呉三津田高校一年目・教師九年目）

アンケートを授業者（教師・末永の長所、短所を中心に分類していくことにする。しかし、項目別のアンケートではなかったので、分類する作業がむづかしく、各時点の集計表だけでは授業者の個性の様子がわかりにくく不十分なので、代表的顕著なアンケートの文章をそれぞれの年度に数点掲げることにした。

# 1、教師二年目・昭和三九年度のアンケート

明石南高校は一学年十一学級、全校生千六百名の普通科高校、男子四五名の占有率。

○アンケートA・男

一、5段階法で4点くらい。

三、教科書通りにやらずに、ほかの参考書をつかってほしい。試験に即した方法でやっほしい。

○アンケートB・男

一、僕は五段階で3.5とつけたと思います。

二・三、ユーモアがあり、大変よかった様に思います。テストが少しむつかしかった様に思ったが、現国の授業といえど本を読む程度のことが多かったのに残念でした。先生のやり方をどうしよういうのではありませんが、もっと内容とか色々みんなに聞いてはどうでしょうか。先生は「聞いた所で生徒は答えない」と言われるかもしれませんが、それと先生は若い為か短気な所がある様に思っています。この様な所を少しおして下さい。それと、ユーモアも必要でしょうが、もっと生徒ととけ込むようにして下さい。もし三年生になって先生に教えてもらえれば、もっと接してみたいと思います。

○アンケートC・女

一、評定4

二、授業中はとても面白く、ためになる話も多かったが、ノートや答案など返してくれるのが大変遅い時があった。

このように生徒は授業だけでなく、授業外のことでも厳しく批評してくる。また、同じ授業内容や事実についても、生徒によって受けとめが真反対である。次のがそれである。

○アンケートD・男

一、評定4点

二、5にならない点は少し計画性のない教え方のように思ったから。一学期で詩の所だけしか進めなかった。三学期などは読む程度で次へ行くといった調子である。

○アンケートE・女

一、前半4、後半3から2.5の間

二、一冊の本を全部終らなくても一学期のような授業を讀けてくれて「量より質」を重んじてほしかった。読むだけで一冊をすごしても役に立たないと思います。

前半おもしろかったし、興味もあった。後半かわりがない。一年より窮屈さがあった。

アンケートに今さら反論する気はないが、Dの言うような進捗度はなかった。受けとめ方はいろいろだと痛感する。現国の授業を強弱のポイントをつけて教えたと思っても、そうは受けとめない者もいる。

無記名アンケートのなんと厳しいことか。しかし、支持や良い評価もある。以下数例、変った内容も合せて載せておく。

○アンケートF・男

一・二、評価5。説明がよくわかるし、冗談も時々入れて、とても

楽しい授業。一年の時は国語は嫌いであったが、二年生になって先生の授業を受けて、ちよびり好きになった。

○アンケートG・女

一、3をつけたのですが、先生の授業に対してのファイトぶりを見こんで4をつけました。

二、一般的には、解答は答だけ言う先生が多いのに、なぜそういう答になるかという所まで教えこんで下さる所は大変よいと思えます。以後続けて下さい。

○アンケートH・男

三、最近、国語で問題などがでてくると、よく討論会のようになりますが、大変いいと思います。たとえ自分で意見を持っていないくとも、「他の人はこんなことを考えているのだな」と思うと、自分が考えていく上にも参考になりますから。

○アンケートI・男

一、僕はえらくないので先生の評定などできない。  
二、先生がよく本を持ってきて見せてくれたが、真中の列にいるものはあまり見れなかった。もう少し威厳を示したらよかったです。

教師二年目のアンケート集計

○長所(一表現を一件とする・以下同じ)

- |   |                   |    |    |
|---|-------------------|----|----|
| 1 | ユーモアや講義に味があって楽しい  | 人数 | 21 |
| 2 | とても熱心・人間的にまじめ、立派  |    | 11 |
| 3 | 生徒との話し合い・討論が活発でよい |    | 8  |
| 4 | 生徒ととけあい親近感あり      |    | 7  |

5 解説・説明・訳など興味深く分りやすい  
6 授業に関連した写真や本などの持参

7 おもしろく、やさしく、丁寧

8 解答だけでなく納得いくまで説明

9 生徒の多くに指名する・意見を求める

10 要点をおさえ説明も変化に富んで良い

11 教科書以外の教材・ためになる話をする

12 「源氏物語」の時の授業がよかった

13 書取テストをしてくれるのはいい

14 味つけのりは大変よい。(味つけのりとは、西洋紙を

半分につけて、二、三分ですぐに感想を書かすこと)

15 生徒の机を歩くのは緊張してよい

16 落ち着きがでよい

○短所

1 授業の速度が速い・進度にむらあり

2 時々感情的になる・短気

3 授業の延長など時間を守らない

4 字がきたない

5 本を読むだけで終ることがある

6 生徒の机の間を歩くのは気がでない

7 声ははっきりしない・言葉が聞きにくい

8 よく当たる人と当たらない人がいる

9 黒板に多く書かない

10 態度が甘い、もったきびしく

- |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 2 | 3 | 5 | 7 | 7 | 8 | 9 | 32 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 4 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

- 11 わかりやすく説明してくれない  
12 わからないのに長く立たす  
13 試験に習っていないものを出す  
14 宿題をだす（のはよくない）  
15 絵が下手である  
16 解答のはっきりしない所がある  
17 生徒のわからない字や意味をすぐ教える
- のぞむこと（希望）
- 1 授業が昼からなので眠く午前にしてくれ  
2 テストをやさしくしてほしい・量が多い  
3 教科書以外の作品をとり入れては？  
4 味つけのりはしないでほしい  
5 試験前は自習にしてほしい  
6 入試問題に出そうな所を言っしてほしい  
7 宿題を出した方がいい  
8 古典の授業に辞書を活用させてはどうか  
9 先生一人がしゃべってればよい  
10 授業の終りに毎日小テストをしたら？
- アンケート対象・二年生四クラス・一九六名 平均3.5。
- 2、教師四年目・昭和四一年度のアンケート
- 私は昭和四一年四月に広島県の広高校に赴任した。広高校は一学  
年十一組・一五〇名の普通科高校、男女比はちょうど半々である。  
。アンケートA・女
- おもしろい話をたくさん知っておられる。どこであのような話を

仕入れられたのか、この先生はどうやら道をまちがわれたらしい。  
本来ならば、今ごろは理性派の落語家？ いや、やっぱり国語の先  
生の方がよい。我々が楽しく授業を聞くことができるから。

勉強のこととなるとまるできびしい。金曜日の書取りがその象  
徴だ。何年前か前までは先生もこのように、きゅうきゅう言いながら  
勉強されたのだから。そんなことはまるで忘れられたような顔を  
して楽しそうに漢字のテストをくばられる時、まったくうらめしい。  
評定4点

。アンケートB・男

希望——よくよその組では国語の先生は黒板にたくさんまとめて  
くれるが、先生はあまりまとめてくれない。だから試験にどこを勉  
強してよいかわからない。評定4点

。アンケートC・女

ずばり言うと先生の授業はおもしろい。それはユーモアがあるか  
らだ。時々へたくそな絵を黒板に書いたりするけれど、それが印象  
に残ってなかなか忘れられない。だから、ねむたいと思っても眠ら  
れない。外観から見ると、のっそのっそと私は牛を思いだす。でも  
授業は牛のようにないので驚く。あの歩き方は貫ろくのあらわれな  
のだろうか。今の先生の勤務を点でいうと3だと思う。これはまだ  
まだ先生により良い授業を私は望んでいるからです。

。アンケートD・男

この先生の鼻から出るような声はまことに風流・豊かなり。この  
国語の授業は我々の学校生活に一つの光を投ずるものなり。この授  
業、まことに味わい深し。数学の時間と取りかえっこをしたくなる

ような思いをわかせる。魅力あり。5点。

○アンケートE・女

一番初めの先生の授業の時、一番に思ったのは、何んてユーモアのある先生だろうということでした。でも私達があまりに笑うと何だか気に入らないというような態度をなさいました。それで私は始め、この先生は案外見かけと違ってお堅いんだなと簡単にかたづけていましたが、月日もたち、授業も回を重ねて近頃になって、先生ははじめをはっきりつけることができる人だなとわかりました。

○アンケートF・男

一見やさしそうで、弱そうな顔や体をしているが、授業はきびしく、一度おこらせたら身が小さくなるほど恐ろしい。「人はみかけによらぬもの」と言うが、先生のことだ。針がね入りのとうふのよきな感じ。自分でもわかってはいるらしいが、授業を行なうときの姿勢が気に入らない。もう少しなんとかならないものだろうか。しかし、生徒に対する思いやりは十分だと思ふ。

希望——質問して答えられなかったら立っていなくてはならないが、きびしい。もう僕達も大きいのだから、ふまじめにしないと思うから、立たさないでほしい。4点

○アンケートG・女

この間、確か千田是也の「生きた話」という本を組で回した時、それをペラペラとめくと終りの方に「ばかなことをいっては何だか何とか書いてあった。私は授業を一時置いて一寸読んでみた。よくわからないが、何かに対して不満を持っていることは事実であるらしかつた。その時私は少なからず感心した。常にノン

ペンダラリと本を読んでいるのではないという証拠だと思えたから購入日と読み終えた日を書いてあったのを見て、何かしら言いようのない気持がよぎった。4.5→5

○アンケートH・男

僕が今まで小学校・中学校を通した中で一番わかりやすい。授業で先生からの質問に、思っていることをいうと、だいぶ取りあげてくれるので自信がついたような気がする。また、時々ユーモアのあること、絵を書いて説明されるところが良いと思う。しかし、僕のきらいなことは、宿題・テストが多いこと。宿題でも試験の前に出されるのが一番困る。宿題とテストがなければ一番気に入りの課目なのに。

○アンケートI・女

とにかく面白い先生である。であるから現国の時間は楽しい。私は最初の授業が忘れられない。顔の筋肉はゆるみっぱなしであった。だが、先生の質問はきつい。私の辞書には分らないという言葉はない。という通りである。だから指名されると、どきまきしてしまふ。

教師四年目のアンケート集計

○長所

- |   |                             |    |
|---|-----------------------------|----|
| 1 | シャレ・冗談・ユーモアに富み楽しい           | 人数 |
| 2 | 時に関西弁がでて語調がやわらかくよい          | 53 |
| 3 | 思いやり・親近感・人間味あり話せる           | 28 |
| 4 | 一見頼りなさそうだが、芯・根性・けじめ・厳しさなどあり | 20 |
| 5 | 話し上手で授業の進め方がうまい             | 8  |

- 6 知識が広範で豊富である・英語も
  - 7 一風変つて、先生らしくなくてよい
  - 8 名前のごとく統一されてる
  - 9 絵や図を画いて説明するのがよい
  - 10 小テストのやり方がよい
  - 11 自分の非はすなおに認めて好感もてる
  - 12 発言したことを取り上げてくれる
  - 13 指名したら必ず答えさせる方法がよい
  - 14 重要な点をはつきり言ってくれる
  - 15 本を読むときの心がけがよい
  - 16 授業以外のことも活発にする
  - 17 指名せず、一人で進める授業は面白い
  - 18 鼻から出るような声が風流
  - 19 細かい点まで気づき、人を見抜くなど
- 短所
- 1 短気・神経質・気分が顔に表れる
  - 2 テストが多い
  - 3 早口で聞きとりにくい
  - 4 板書の字がきたない
  - 5 体の姿勢がわるい
  - 6 答えなかつたら立たされる
  - 7 授業の進行が速すぎる
  - 8 何かたよりない

○希望・その他

1 4  
2 3  
3 2  
4 2  
5 1  
6 1  
7 1  
8 1

- 1 挨拶の仕方・歩き方に特徴がある
  - 2 女性的な独特の声を発する
  - 3 宿題が多い、試験前は減してほしい
  - 4 具体的にもっとまとめてほしい
  - 5 もっと言葉をはつきり言ってほしい
  - 6 ベルが鳴ったら授業をやめてほしい
  - 7 文学のことなど、もっと指導してほしい
  - 8 姿勢をきりっとしてほしい
  - 9 どんどん宿題をだしてほしい
  - 10 もっと冗談があつてもよい
- アンケート対象、一年生二クラス・九六名。平均点11であった。  
3、教師八年目・昭和四五年年度のアンケート  
広高校勤務五年目の年でもある四五年年度のアンケートをみていき  
たい。この年度は一年と三年の授業にでていたので両学年を資料と  
する。
- 一年生のアンケートから。
- アンケートA・男
- 一、評価点 4デース
  - 二、理由、文法やいろんなことをよく説明してくれるのは良かった。  
しかし、生徒をいじめすぎる。
  - 三、テストがむつかしすぎる／ユーモアがありました。テストで  
いじ悪な問題はやめて下さい。ダジャレはやめて。
- アンケートB・女
- 一、4点

二、私の本当の気持としては5をつけたい気持ですが、それでは末永先生が私達にこんなことを書くよう要求された意味もないし、なんとなく、ごまかすっている感じにうけとられると困るから4にしました。末永先生は広高で私を知っている中では一番頭がいいように感じ、頼りになる。教師として生徒とのまじわり方もバツグンだし、楽しい授業がうくれたと思う。

○アンケートC・男

一、とういちの成績 4

二、この一年間おもしろくない古典をおもしろおかしくユーモラスに授業をしてくれたのが大変よかった。ではなぜ1点引いたかという、訳などを速く言いすぎてわからないときがしばしばあったからである。こんどから気をつけてほしい。

○アンケートD・男

一、4か3 (はっきりわからない3.5ぐらい)

二、まず、いつ当たるか胸をどきどきさせて下さったので少し点が悪くなった。でも、よく一つのことを追求して下さったので少し点がよくなった。それに時々じゃれが出るので緊張がほぐれて楽になることがよくある。

○アンケートE・女

一、4 二、授業内容はユーモアもあり、しめるところはしめて、別にいうことはない。しかし、予習していかない時は遠まわしにせめられるし、質問があたった時、先生に問いつめられると、何かなんだかわからなくなる。

○アンケートF・女

一、評点5 二、ユーモアがあつていい。しまる所はきちんとする感じ。たくさん知識をもって、英・日両国語でバラエティに富んでいる。教科書の「サンモン」を見つめるのがうまい。——いとにかくうおぼえたり。

○アンケートG・男

一、4点 二、先生は、生徒と最も接近しています。授業は生徒を指名して「わかりません」という解答を受け入れない時があります。これは他の先生とちがっています。

○アンケートH・女

一、4点 二、授業内容も良くわかるし、ともかく楽しいです。先生と生徒の間が全くといってよい程なので気楽に授業が受けられるし、一年二組の全教科では一番人気ある授業だと思います。中には五十分の間にこれだけをおしつけければいいものだと考えておられる先生の授業は、静かだし楽しくもなく、ただ黒板を見ているだけに終ります。

○アンケートI・女

一、段階5 二、授業はまじめで、アドリブや先生の主観的な意見などが入っておもしろい。それに、私個人で言うくと、現国のようなものの授業はあまり板書してもらわないで、先生が現在やってらっしゃるようにペラペラ話されるのをこちらで適当にメモしていくという方が楽しい。

三年生のアンケートより。

○アンケートA・男

うわさどおりに「現国を教える」先生であったことはその後すぐ

わかった。とにかく授業はよかった。第一楽しかった。次に授業がよくワカッタ。だいたい中学校以来、現国とか現代の文章には興味があったが、ムズカシイものだと思っていた。が、先生の授業を聞いて少しではあるが、やさしいもののように思えた。

しかし、残念だったのは最後の方の授業が急テンポでボクにとって理解できなかったことだ。だいたい予習しないで理解しようとするのが無理なのかもしれない。ここだけの話だけれども、「先生ありがとう」と黒板に書いたのは「統一先生が初めてであり、それが終りでもあった。」すなわち、統一先生だけにあのようなもてなしをしたわけである。そのことから統一先生がいかに生徒にウケているかがうかがえる。因みに評点は4.5とつけておきます。

○アンケートB・男

一、3点 二、授業に重みがなかった。駄洒落で笑ったら、大切な事も忘れるではないか。親しみがもてもて尊敬の念がわきにくい。三、圧倒されるようなすばらしい授業、うそでも本当に聞こえるような授業、大人物になられることを望みます。

○アンケートC・男

一、5 二、現国の内容はかりでなく、幅広い勉強ができた。社会のことや、ある人物の批評など言いくい所をよくすばずば言われたのは大変気持ちよかった。先生の話を聞いていると、自分が悪いことや心にとがめることがなければ、世界にこわいものはないという感じがしている。

教師八年目のアンケート集計

○長所

人数

- |    |                     |    |
|----|---------------------|----|
| 1  | ユーモア・シャレ・気持ほぐれて楽しい  | 14 |
| 2  | 授業内容が詳しく理解しやすい      | 14 |
| 3  | 変化に富んだ内容・幅広く学習できる   | 9  |
| 4  | 広い視野・深い教養・幅広い知識を備える | 8  |
| 5  | しめる時はしめてけじめがついてよい   | 7  |
| 6  | 英語のとり入れは理解を増す       | 6  |
| 7  | 生徒に身を投じようと努力している    | 4  |
| 8  | 他の先生や授業にはない雰囲気がある   | 4  |
| 9  | 筆者の意見だけでなく自分の意見も言う  | 3  |
| 10 | 生徒の気持をよく知ってくれている    | 2  |
| 11 | 生徒の質問に対する意見をうまく導く   | 2  |
| 12 | 愛嬌がある               | 1  |
- 短所
- |    |                   |    |
|----|-------------------|----|
| 1  | 声の聞きとりにくい所がある     | 14 |
| 2  | テストが多い。また範囲が広く難しい | 11 |
| 3  | 教科書が最後まで完了しない     | 7  |
| 4  | 授業のテンポが早い         | 7  |
| 5  | 何時あたるかとひやひや・恐ろしい  | 7  |
| 6  | シャレが多すぎる          | 5  |
| 7  | 字が下手である           | 5  |
| 8  | 自分一人で授業を進める       | 4  |
| 9  | 神経質・機嫌の良い日と悪い日あり  | 4  |
| 10 | 望むこと、その他          | 4  |
| 11 | このままの授業をつづけてほしい   | 14 |

人数 14 4 4 5 5 7 7 7 7 11 14 1 2 2 2 3 4 4 6 7 8 9 14 59

2 教材以外や人生のことをもっと教えて  
 3 生徒の自主的な授業もさせてほしい  
 4 二年になっても末永の授業がうけたい  
 5 単元終了後ももう少し深く鑑賞したい  
 6 定期試験は記述式・論文形式にしてくれ  
 7 試験の点は言わないでほしい  
 8 授業の合い間に家族のことを教えてノ

アンケート対象、一年二クラス八五名、三年生一クラス四二名、  
 計一七七名。平均は、  
 4、教師九年目・昭和四六年度のアンケート  
 呉三津田高校、一学年九クラス、男およそ六〇％で、レベルはか  
 なり高かった。

○アンケートA・女  
 一、五段階の5 二、授業の中では古典の時間が一番楽しい。ポイン  
 トもちゃんとわかるし、古典というものに大変興味を持ちだし  
 たのも先生のおかげだと思う。私が5点をつけたのだから、パッ  
 チリな先生である。授業への希望でもあるが、もっとはつきり言  
 ってほしい。後ろの方だと聞こえないことがある。

○アンケートB・男  
 内容はなかなかいい所をついている 5  
 授業方式は少しくつであるので 4

三、現代国語の校内模試をしてほしいと思う。問題練習による読解  
 力の養成が必要。

三津田高校では選ばれた進学校らしく、模試・実力づけを、とい

った希望が出されており、希望の種類にも広がりを見せている。  
 教師九年目のアンケート集計

○長所

1 わかりやすく興味深い授業 人数 21  
 2 しやれやユーモアがあっっておもしろい 10  
 3 授業内容が濃く、豊富である 6  
 4 古典に興味をもつようになった 5  
 5 生徒との和が最高・親しみがある 8  
 6 教えることの熱意・何事にも意欲的 4  
 7 問題提起がよく、興味がわく 2  
 8 研究授業したのがよかった 2

以下は一人だけ表現した内容である。

型にはまった授業でなくてよい／適度に緊張感がある／国語以外の  
 ことが多方面にわかる／気軽に質問でき、丁寧に教えてくれる／他  
 の先生と違う雰囲気／授業外のことでも熱心に導く／ポイント押え  
 てスピーディな授業／生徒を引きつける魅力あり／解答が明確であ  
 る／まじめでよい／ティーチングマシンを越えている／文法を詳し  
 く教えてくれる／思い出話をしてくれるのがよい／教師としての知  
 識十分／黒板の使い方ユニーク／生徒に授業を担当さすのはよい／  
 実践面での力がついた／漢字の試験をするのはいい。

○短所

1 声が聞きとりにくい 人数 9  
 2 授業の進度にムラがある 9  
 3 個人的な意見・思想が表われる 5

4	解答例のはつきりしない時がある	4
5	ポイントがとらえにくい	3
6	授業の進度が速くなる	3
7	厳しさが足りない	3
8	生徒の意見を尊重する態度がない	2
9	しやれが多すぎる	2
10	抽象的で中途半端なところがある	2
11	学年の後半・ハリキリがなくなった	2
12	古文の格調の高さが授業にでてない	2
13	授業に参考書(三文ではない)を使わず	2
14	話がむずかしい	2
	以下1名。点数がきびしい／魅力を感じずものたりない／鑑賞することに費す時間が少ない／生徒に授業を担当するのはよくない。	
	○希望その他	人数
1	三年になっても教えてもらいたい	3
2	先生の人生観などもっと知りたい	3
3	古典を受けもってほしい	3
4	小テストをして、もっと厳しく	2
5	問題演習で鍛えるべきだ	2
6	先生中心の授業をしてほしい	2
7	生徒が発表・司会する授業はしないで／	2
	以下は1名の希望である。	
	もっとプリントを／機械的な授業を／グループ学習を／討論形式の授業を／漢文と古文を半々に／しゃんとした姿勢を／漢詩はもっと	

読もう／どんな指名して当てよ／一人に質問攻めにしないよう／先生の意見・気持をもっとだせ／授業のスピードをもっと早く／書籍の紹介をもっと多く／どんなアドバイスを／問題形式をとり入れてほしい／生徒が発表・司会する授業をもっと多く／字をもう少しきれいに／テストの問題をやさしく／宿題をどしどし

アンケート対象、二年三クラス一二六名。平均点11である。

### 三、アンケートからわかること

最初の年、アンケートを読んだ時、欠点をズバリ言われるとムカムカする気持もあった。しかし、このアンケートは自分の鏡だ、自分を成長させるもの、生徒をよりよく伸ばすためのものだと言いきかせ、謙虚にとり入れるものはとり入れ、直すべきものは直すように努力した。例えば「字がきたない」という指摘に対しては、なるべく丁寧に板書は右から左へ順番に楷書できちんと書くようにした。その効果があったのかどうか、教師二年目の短所「字がきたない」は七人から、四年目三人・八年目五人・九年目〇人(ただし、希望の項に一人)というふうに減少している。一応、教師個人の成長とみていいであろう。

しかし、こういう直せる欠点ばかりでなくむづかしいものもある。例えば「声のはつきりしない、言葉が聞きにくい」(教師二年目・短所7)というのは私の生れつきの声帯であり、いわゆる含み声というもので根本的には直らない。したがって、「鼻から出るような声が風流」(教師四年目)「声の聞きとりにくい所がある」(教師八年目)「声が聞きとりにくい」(教師九年目)となつて、個体の成長

がない。むしろ、短所の一番になりあがっている。これは他の欠点を克服した結果、直せないこれが一番の欠点になったということである。

また、同じやり方をしたにもかかわらず、長所・短所の両評価がある。この場合どちらがより良いのか判断がむづかしい。例えば教師二年目の長所に「生徒の机の間を歩くのは緊張している」というのと「生徒の机の間を歩くのは気がでない」という短所とがあるが、私は必要に応じてある程度机の間を歩くことによって、生徒のノートのとり方も見られるし、「サンモン」を出したり内職しているヤツをチェックすることもできる。この場合は短所とした生徒の意見をふまえながら、教師の教育理念を貫ぬいて実行すべきである。

教師二年目の短所で出していた「授業の延長など時間を守らない」「時々感情的になる・短気」「よく当たる人と当たらない人がいる」などの項目は克服したようで、教師九年目では消えている。もっとも「短気」が消えたのは年をとったせいもある。「よく当たる人と当たらない人がいる」に対しては、エンマ帳に指名の回数（読みか、訳か、質問かを分けている）をチェックすることで克服した。

また、生徒に納得してもらわなければならない問題もある。二年目の短所「進度にむらあり」とか、九年目の短所「授業の進度にムラがある」という批評について、私は自分なりの計画で、この単元はサツといこう、この単元はじっくりやろうと考えて実行したのである。そこに受けとる側とのギャップがあるなら、この問題は今後検討すべきであろう。

一般に授業に関して批評してもらおうと思ったのであるが、実施してみると、生徒はやっぱり教師の人となり、生活姿勢、はては歩き方や体つきまで評価していて、授業のことと授業外とを分けることができないでいる。テストのむずかしさから宿題までも。国語教育・教科教育といいながら、全人格・全人間性が評価されていることがわかった。だからこそ、教育は全人間を通しての教育であるという、古くからの言葉もうなづける。さて、生徒はどの学校の生徒も楽しい授業を好み、求めていることがアンケートでわかる。その意味では、ユーモラスに進める私の授業は多くの者に好感をもたれた。そのため評定も高くなっているのである。ただし、このユーモラスな授業も、悪く言えば軽さがあるということになり、教師五年目のアンケートのように「うそでも本当に聞かせるような授業・圧倒されるような授業」を望まれると、私には苦手でできそうもない。結局、教師の個々の特徴や個性に合った授業で、磨き上げるのがよろう。授業方法としては、授業の中で英単語などと比較しながら説明するのも喜ばれる。特に古文の時間に活用すると学習効果があるようだ。

また、教材に関連した絵ハガキやパンフレット、書籍などをこまめに教室に持ってきて生徒に回覧させるのも好評のようである。視覚に訴え、理解を早める上には、下手でも黒板に絵を画いて説明するやり方もよい。さきほど述べた楽しい授業も、授業方法としては、ただの笑いでなく「たのしさ」と「きびしさ」とを兼ね備えたのがよい。さらに、説明するに当たっても、何かにつけても、内容の豊富さが求められている。これも一般教養、広い知識、人間性と深くか

かわるであらう。

評定の方は、教師二年目の3.5から四年目4.1・八年目4.1・九年目4.1と、平均4.1まで上がったが、それ以上は足踏み状態であった。私の限界とも言えるようだし、アンケートの中にもあったように、5をつけてもらうのなら、「意味もない」のかもしれない。ただこの十年間のアンケートの中で、「評点1 おもしろくない」とそれだけしか書いてない者が一人いた。こういう子にも視点をあててみる必要がある。

私の実践した授業は毎回教材が違うし、アンケート対象の生徒も毎年違っている。学校も違えた。しかし、個々の評定を年ごとに平均して比較してみると、ほとんど接近して妥当な点がでているのは驚いた。

いろいろな生徒の、あらゆる批評と希望とに全部答えようとすることは実際無理である。だからといって努力を怠ってはならない。自己の短所をみつめつつ、多くの生徒により良い授業をするよう精進していきたい。

(昭55年2月10日)

なおアンケートの分類に協力して下さった本田・大田・五藤さん、あつくお礼申し上げます。

(広島県立呉三津田高等学校教諭)